

p.32「Let's Create!」展開例

「カトカトーン」の活用例や
オススメ情報をお届けします!

カトカトーン
通信

vol. 2

教育芸術社



Let's Create!

音の特徴や重なりを感じて
リズムアンサンブルをつくろう。

本資料では、カトカトーンの特長を生かすために、

教科書 p.32 「課題」の3点目を以下のように変更した場合の展開例を示しています。

●自分のつくったリズムやリズムアンサンブルに合う音色を工夫する。

STEP1

プロジェクトファイルを開く

カトカトーンを開き、
【ファイルを開く】を選ぶ。



「3nen_letscreate (.ktk)」という
ファイルを開く。



3nen_letscreate.ktk

SUPPORT

課題制作のために事前に設定されたプロジェクトファイルは、下の二次元コードからダウン

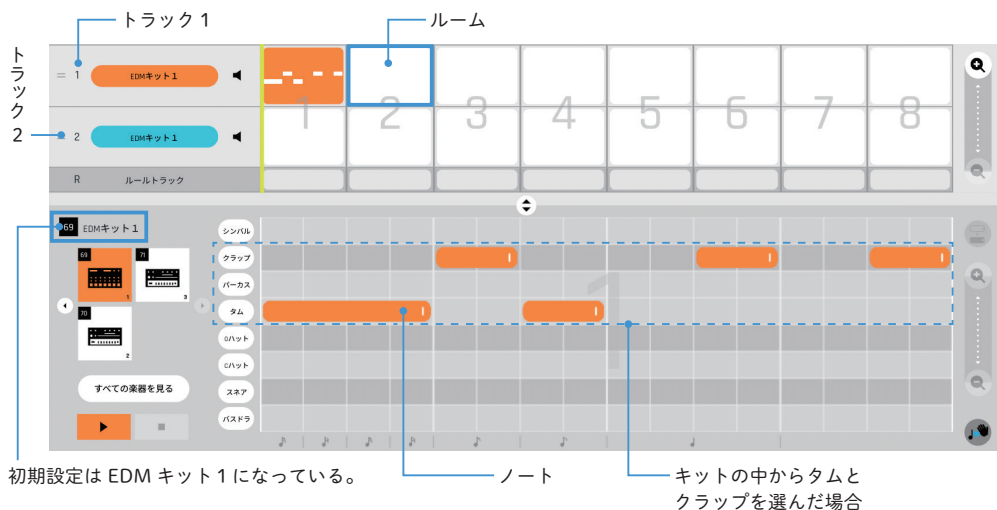


ロードできる。事前に生徒に配付しておくといよい。

STEP2

つくったリズムをトラック1に打ち込み、 それに合う音色を選ぶ（個人）

リズムを作成し、音色を選んだ状態のカトカトーンの画面



同じ要領で、次のルーム(小節)に、もう一つのリズムを打ち込む。

つくったデータを適宜保存する。



SUPPORT

- オタマチョップは、教科書の例の最小単位となる16分音符に設定されている。
- 初期設定よりも長い音価のノート(音)を入力する場合は、入力後、そのまま伸ばしたい分だけ右にドラッグしても、ノートの長さを変更することができる。



POINT

- ノートを埋めることだけが目的にならないように、無音(休符)の使い方も工夫するように促す。
- 音色の選択は、ある程度制約を設けたほうが指導しやすいと考え、ここでは1人につき2種類を選び、組み合わせるようにしている。

SUPPORT

ある程度まとまったところでプロジェクトファイルを保存しておくといよい(詳細は最終ページ参照)。なお、保存するたびに新しいファイルができ、上書きされないため、ファイル名を変えするなど工夫をして管理する。

STEP3

つくったリズムを使ってリズムアンサンブルをつくる（ペア）

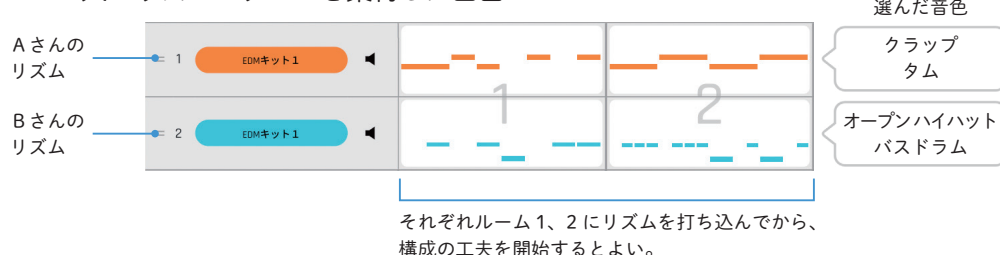
- ① 2人一組になり代表者のカトカトーンの「トラック2」のルーム1、2に、もう一人がつくったリズムを打ち込んで集約する。
- ② 4つのリズムパターンをそれぞれ再生して、2人で確認する。

SUPPORT

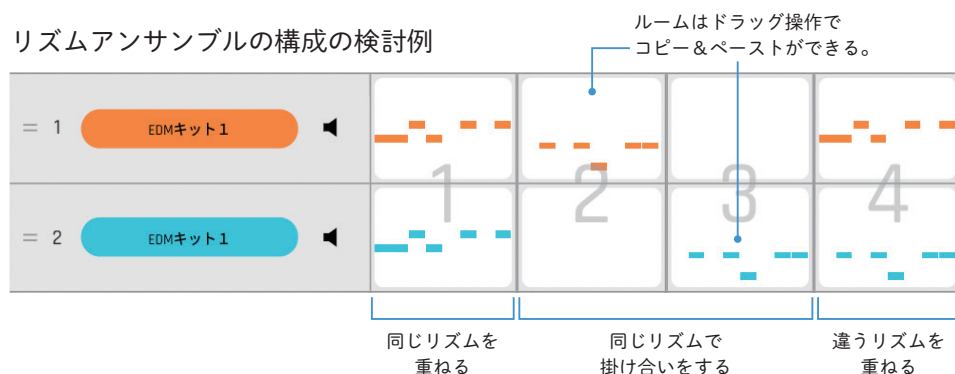
左下の再生ボタンは、選択されているルームのみを繰り返し再生することができる。1つのルームのみを選択し再生して、音を確認しながら進めるとよい。

- リズムパターンを使って、音の重なり方や構成を工夫しながらリズムアンサンブルをつくり、イメージに合った音楽になっているかを確認める。
- 中間発表をして、つくった音楽について意見交換をし、それを参考にリズムアンサンブルを完成させる。

2人のリズムパターンを集約した画面



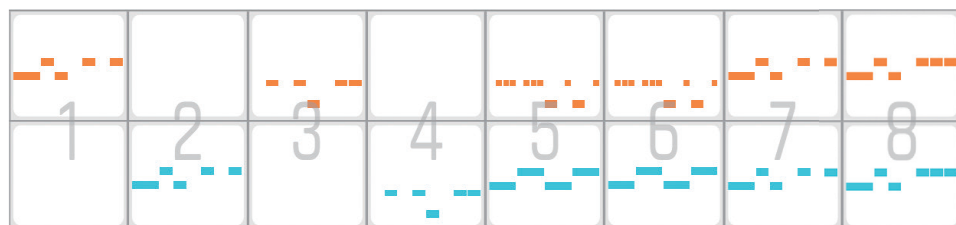
リズムアンサンブルの構成の検討例



STEP 4

完成したファイルを楽譜に変換して提出する

📁 ファイル ボタンの【楽譜で書き出す】を選択して譜面化する。



楽譜で示したもの



POINT

- 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解しながら、表したいイメージに向けて協力して創作することが協働的な学びの実現につながる。
- 重なり方や構成を工夫する段階で、リズムや音色を変更してもよい。
- 編集が容易なため、生徒がさまざまな試行錯誤を重ねながら主体的に創作活動に取り組むことができる。
- カトカトーンを用いると、人数の都合上3人一組みで活動を行うような場合にも対応がしやすくなる。

SUPPORT

- 速度を変更したい場合は、【ルールボタン】のBPM(テンポ)設定を活用するとよい。
- 🔧 ルール
- リズムパターンを誤って消してしまう懸念がある場合は、集約や保持をするためのトラックを増やすなどして対応するとよい。

POINT

- 打ち込んだ内容が楽譜になることで、より達成感が味わえる。
- 音の特徴や重なりをどのように工夫したかについて、アプリの画面上だけでなく、楽譜で表記することで、より音楽的な視点で振り返ることができる。

SUPPORT

- 楽譜はPDFファイルで保存される。その他、MP3ファイルやMIDIファイルで保存することもできる。
- ファイルの提出や共有は、学習支援ソフトウェア等を用いる。

SUPPORT : 操作上の補足説明

POINT : 指導上のポイント

ADVICE : 発展的な内容

発展的な活動の例

●自分の好きな曲にリズムパートを加えてみよう

「中学生の器楽」に掲載されている曲や、自分の好きなアーティストの曲の旋律にリズムパートを加えてみよう。

●つくった音楽を、ボディーパーカッションやヴォイスパーカッションなど、別の方法で演奏してみよう

操作方法

プロジェクトファイルの読み込み方



該当するファイルを開く。



3nen_letscreate.ktk

プロジェクトファイルの保存の仕方



①【ファイルボタン】



③保存する

②タイトルを入力する

ファイルは、端末のダウンロードフォルダ等に保存される（ブラウザの設定で異なる）。



本編でつくられた
ファイル



使い方・資料
(マニュアル)

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

「カトカトーン」は、2024 年 3 月まで試験公開を行い、2024 年 4 月に正式公開を予定しています。詳しくは右のウェブサイトをご参照ください。なお、正式公開時は画面や操作方法等が変更となる場合があります。



ADVICE

●あらかじめ旋律が打ち込まれた「聖者の行進」のプロジェクトファイルを、左の二次元コードからダウンロードできる。

●著作権のある曲を扱う場合、プロジェクトファイルの共有などは、授業内に留めること。

カトカトーン4つのポイント

- WEBブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



2024 年 1 月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区長崎 1 丁目 12 番 14 号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

